

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

- 東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
- 大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040
- URL <https://www.teijin.co.jp>

2020年10月13日

## 航空機向け炭素繊維中間材料の展開 CFRTPが米・コリンズエアロスペース社の認定を取得

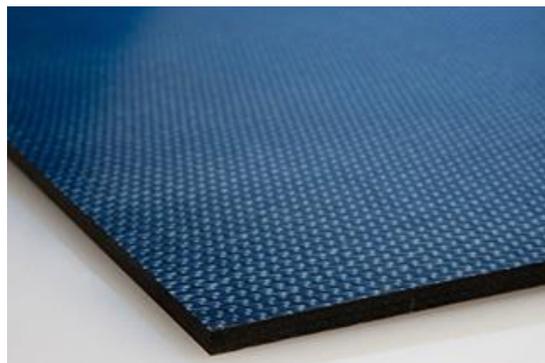
帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：鈴木 純）の炭素繊維「テナックス」を使用した中間材料が、世界有数の航空機向け構造材メーカーである Collins Aerospace（本社：アメリカ・ノースカロライナ州、CEO：Stephen Timm、以下「コリンズ社」）の材料認定を取得しました。

このたび認定を取得した炭素繊維中間材料は、熱可塑性複合材料織布「テナックスTPWF（Thermoplastic Woven Fabric）」と炭素繊維強化熱可塑性樹脂積層板「テナックスTPCL（Thermoplastic Consolidated Laminate）」です。いずれも当社が展開する炭素繊維強化熱可塑性複合材料（CFRTP）であり、「テナックスTPWF」は、炭素繊維織物に熱可塑性樹脂を付着もしくは含浸させたシート状の材料、「テナックスTPCL」は、「テナックスTPWF」を積層させ、熱と圧力をかけて成形した板状の部品です。



テナックスTPWF



テナックスTPCL

「テナックスTPWF」「テナックスTPCL」は、ともに母材である樹脂にポリエーテルエーテルケトン（PEEK）を使用しており、高い耐熱性、耐衝撃性、および耐疲労性を有しています。また、成形時間が短いことからコスト効率や生産性の向上にも貢献し、航空機の構造材など、優れた機械特性が求められる部品の大量生産に適しています。

帝人グループでは、これまでコリンズ社に対して、米国で炭素繊維事業を展開するテイジン・カーボン・アメリカが航空機のブレーキ材向けに耐炎繊維「パイロメックス」を供給しており、繊維サプライヤーとしては世界で唯一「サプライヤー・ゴールド」の認定を受けるなど、強固なビジネス関係を確立しています。このたび「テナックスTPWF」と「テナックスTPCL」が新たに認定を取得したことにより、その供給を通じて、テイジン・カーボン・アメリカはさらなる関係強化を図っていきます。

当社は中期経営計画において、航空機向け炭素繊維中間材料の展開を「将来の収益源育成 (Strategic Focus)」と位置づけており、高強度高弾性率炭素繊維や熱可塑性樹脂を使用した一方向性プリプレグテープをはじめ、炭素繊維強化熱可塑性樹脂積層板、熱硬化性プリプレグなどにより、グローバル市場で幅広く用途開発を進めていきます。そして、航空機向け炭素繊維製品のマーケットリーダーとして、ソリューション提案力を一層強化し、2030年近傍までに航空機用途で年間900百万米ドル超の売上を目指します。

**【 参 考 : コリンズ社の概要 】**

社 名	Collins Aerospace, a unit of Raytheon Technologies Corp.
本社所在地	米国 ノースカロライナ州 シャーロット市 西ティボラロード 2730
設 立	2018年11月26日
事業内容	航空・宇宙関連製品の製造・販売
代 表 者	CEO Stephen Timm

以 上

**【 当件に関するお問合せ先 】**

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055